

第 71 回 鎌倉エフエム放送番組審議会議事録

1. 開催年月日 平成 21 年 8 月 30 日 (日) 13 時 30 分～15 時 00 分

2. 開催場所 鎌倉エフエム放送局内

3. 委員出席 委員総数 7 名

出席委員の氏名 児玉 昭義 小島 隆雄 中島 和晃 森 禎子

欠席委員の氏名 久保田 隆治 奥田 友彌 島田 貴司

放送事業者側出席 須藤 一郎 中丸 宗幸

4. 議題

1. 番組編成に関して

2. その他

5. 議事の概要 議題に対する答申

6. 審議の内容

議 長：須藤 一郎

出欠席者の確認をして会議に入った。

次に本日の審議事項の発議を提案。

会社側委員：防災放送に関して、津波対策訓練などの行事に参加、現場からの中継放送あるいは神奈川 FM ネットワークの同時生中継放送などを実施した。

委 員：地域の情報を地域に密着したメディアが的確に発信できるように日頃からの備えが大切だと思う。

委 員：鎌倉 FM としては災害に対応できるハードとソフトの再点検と整備を早急に行うべきである。

会社側委員：鎌倉市内中学校の体験学習を実施している。マンパワーや機材面での制約もあるが参加可能な人数を限定してもらうなどにより要望のすべてを受け入れ実行中である。

委 員：学校関係の方から好評であるとの話も伺っています。大いに貢献してください。

会社側委員：花火大会の中継特番を企画しておりましたが荒天で大会中止のため放送も通常の番組に戻しました。来年度も参加を予定しております。

委 員：残念でしたが次回を期待したい。

会社側委員：中継放送の機材を整備中であり鎌倉美学というライブハウスからの生中継放送を計画しています。10月の編成で取り入れる予定です。

委 員：新しい展開に期待します。

会社側委員：前回も申し上げたが地域のイベントにも積極的に参加して地域密着型のコミュニティエフエム放送局としての活動を拡張していきたい。

委 員：中継放送などを通じた地域への積極的な貢献を多いに期待する。

会社側委員：夏前に予定したパソコン活用中継システムの実用化が遅れてしまったのだが10月からは稼働できることになる。期待していただきたい。

本日はありがとうございました。

7. 審議機関の答申または改善意見に対してとった処置及び年月日 な し

8. 審議機関の答申または意見の概要を公表した場合における公表の内容、方法及び年月日  
ホームページにて公開

9. その他の参考事項 な し

以 上